

成城大学

INFORMATION

オープンキャンパス 2022

配信
型

6/25
SAT

来場
型

7/17
SUN

来場
型

8/6・7
SAT SUN

※コロナウイルス感染症等の影響により、実施方法は変更する場合があります。

入試情報サイト
「成城ブリッジ」

オープンキャンパス
や入試の最新情報
はこちら



「個性尊重」の教育を伝統とする成城大学は、入学者選抜でも記述式をはじめとした多様な選抜方式でさまざまな個性や強みを持つ学生を受け入れている。2023年度入学者選抜の最大のトピックは、学部別選抜 (A方式) の試験日が増えること。合格のチャンスが広がる変更が加えられている。

学部別選抜 (A方式) の特色

学部別選抜 (A方式) は大学独自で学力試験を行う。全選抜の中で最も入学者の割合が多いため、成城大学への入学を強く希望する受験生は積極的に検討したい。試験の特徴は、全問記述方式であること。一人ひとりの回答を丁寧に採点するため、マークシート方式と異なり、部分点がつきやすい。受験生の学力差が細かく現れやすい試験だと言えるだろう。

昨年までは各学部につき試験日が1日のみ用意されていたが、2023年度入学者選抜からは各学部2日間あるいは3日間から選択可能になる。例えば、これまで2月4日に実施していた社会イノベーション学部のA方式は、2月4日はそのままに、2月5日と2月6日も追加される。試験日によって試験科目や募集人員が異なるため、さまざまな点を加味して試験日を選択したい。

全学部統一選抜 (S方式) の特色

全学部統一選抜 (S方式) は、全学部共通の試験日・試験問題で実施する選抜方式だ。1回の試験ですべての学部・学科 (11学科) に出願でき、併願も可能。試験は「外国語 (英語)」と「国語」の2教科、全問マークシート方式。

成城大学のキャンパスがある東京をはじめ、全国各地に地方会場を用意しているため、受験生が近隣で受験しやすい選抜方式となっている。試験日は2月2日と、私立大学の一般選抜日程の中では比較的早い時期での実施。一般選抜の本番に慣れる、という意味でも活用しやすい。

大学入学共通テスト利用選抜 (B方式) の特色

大学入学共通テスト利用選抜 (B方式) は、大学入学共通テストの試験のスコアのみで合否を判定し、大学独自の個別試験は実施しない。前期日程はすべての学部・学科 (11学科) に出願でき、併願も可能だ。3教科型のほか、一部の学部で4教科型や4科目型を実施している。

出願期間が2月中旬に設定されている後期日程は、文芸学部と法学部のみで実施。前期日程と同様に大学入学共通テストの成績のみで合否を判定する。自己採点をしたあとに出願できるのが利点。また、文芸学部英文学科は「外国語 (英語)」のみで出願することが可能だ。

総合型選抜は、一次試験と 二次試験の二段階方式で選抜

総合型選抜は、文芸学部の一部学科を除き全学部で実施している。一次試験・二次試験の二段階方式での選抜となり、当日の学力審査や面接のみならず志願理由書や調査書などを精査し、多方面から選考を行う。経済学部・文芸学部は一次試験が書類審査、法学部・社会イノベーション学部では一次試験で学力審査があるなど、選抜方法は各学部で異なる。Webサイトおよび募集要項での確認が必要だ。

学校推薦型選抜は従来どおりに実施

学校推薦型選抜の詳細については、指定する高等学校に個別に通知する。

期待する受験生像



入学センター長
社会イノベーション学部教授
新垣 紀子

東京都世田谷区のキャンパスに4学部11学科の全学生が集う成城大学は、学生数約5,600人の比較的小規模な大学です。少人数教育を基本とした個性尊重の学びは学生の満足度も高く、私が担当するゼミナールの学生からは、「教員や学生間の距離が近くて自分に合っている」という声も多く聞かれます。こうしたアットホームな環境で学びたいと思う方には、ぜひ受験していただきたいです。2023年度には、学部別選抜 (A方式) の試験日を増やし、受験機会を拡大、多様な選抜方式でさまざまなことにチャレンジしたい学生を受け入れていきます。

2023年度学部別選抜 (A方式) の試験日と特色

	2/4(土)	2/5(日)	2/6(月)	2/7(火)
■ 社会イノベーション学部		NEW!	NEW!	
■ 文芸学部		NEW!	NEW!	NEW!
■ 経済学部	NEW!	NEW!		
■ 法学部		NEW!		

※「NEW!」が付いている日程が、今年度より新規に設けられる試験日となる。

アロー総研のフカボリ

学部別選抜 (A方式) がより受験しやすい選抜に

多くの大学が入試改革に取り組んだ2021年度入学者選抜においても、従来通りの選抜方法を継続した成城大学。そこには、受験生に大きな混乱を与えたくないという思いがあった。そうした成城大学が2023年度入学者選抜で更に踏み切ったのは、学部別選抜 (A方式) の試験日追加だ。これまで、2月4日から2月7日までに1学部・1学科につき1試験日で実施していたA方式だが、2023年度からは学部・学科ごとに試験日を2～3日の複数日設定 (上表参照)。受験生の都合に合わせて試験日を選べるだけでなく、同じ学部・学科を複数日程で受験することもできるため、受験機会が増え、合格のチャンスも広がる。受験生に優しい変更点だと言えるだろう。

試験日によって、試験時間や出題範囲が異なることにも注目したい (下表参照)。例えば、社会イノベーション学部および法学部の2月5日の試験であれば、国語に「古典B」が含まれる上、「地理B」の選択が可能。一方で、文芸学部の2月4日、2月7日の試験では、国語に「古典B」が含まれないため、現代文のみで受験可能だ。各自の得意な分野を活かして合格を狙うことができるようになった。

地方在住者や他大学と併願を考える受験生にも推奨

A方式の試験日追加によって、入学したい学部が決まってい複数回受験したい人や、得意な科目で受験したいと考える人などに多くのメリットが生まれるだろう。また、特に地方在住者にとっては、交通や宿泊のことを考えて無理のない日程で受験することができる。他大学との併願を考えている場合にも、他の試験日との兼ね合いで受験スケジュールを検討できる点も受験生にはうれしい。

先述したように、社会イノベーション学部および法学部の2月5日の試験では国語「古典B」が出題範囲に含まれる。試験対策の方法が気になるところだが、文芸学部でこれまで実施してきた国語の「古典B」と出題傾向は変わらないため、こうした問題を活用した対策が効果的だろう。

試験教科・科目、配点、募集人員なども含めて検討し、自分に合う試験日程を選択したい。



2023年度学部別選抜 (A方式) の詳細はこちら ▶

2023年度 学部別選抜 (A方式3教科型^{※1}) の選抜実施日と試験教科・科目、試験時間 (赤字部分は試験日ごとの相違点)

試験実施日	教科	科目	試験時間	試験実施日	教科	科目	試験時間	試験実施日	教科	科目	試験時間
2月4日(土) 2月6日(月)	外国語	英語	90分	2月5日(日)	外国語	英語 独語 仏語 から1科目選択 ^{※2}	90分	2月7日(火)	外国語	英語	90分
	国語	国語総合 (近代以降の文章) 現代文B	60分		国語	国語総合 (近代以降の文章) 現代文B 古典B	90分		国語	国語総合 (近代以降の文章) 現代文B	90分
	地理歴史・ 公民・数学	日本史B 世界史B 政治・経済 数学 から1科目選択	60分		地理歴史・ 公民・数学	日本史B 世界史B 地理B 政治・経済 数学 から1科目選択	60分		地理歴史・ 公民・数学	日本史B 世界史B 政治・経済 数学 から1科目選択	60分

※1 社会イノベーション学部の2月4日、文芸学部の2月5日は2教科型での受験も可能

※2 社会イノベーション学部および文芸学部英文学科は、独語と仏語は選択不可